

# 記入例

## 申請書（申請者に関する情報）

様式1

京都府知事 西脇 隆俊 様

(申請日) 令和3年 ● 月 ● 日

受付番号 ※

※受付番号は、記入しないでください。

申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人事業主 (※いずれかにチェック)	<input type="checkbox"/> 大企業 <input type="checkbox"/> みなし大企業 (※いずれかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業等
フリガナ	カブシキカイシャ ○○○○○○○○○		
法人名	株式会社 ○○○○○		
フリガナ	○○○○○○○		
【法人】代表者役職・氏名 【個人】氏名	代表取締役社長 ○○○○		
法人代表者・個人 生年月日	S:昭和	H:平成	35 年 2 月 1 日
【法人】所在地 【個人】自宅住所	〒	6 0 2 8 5 7 0	京都 都・道・府・県 京都 市・区・町・村
	上京区○○通○○西入○○町11-11 ○○ビル3階 ※番地や建物名まで記載してください		
電話番号	075-○○○-○○○○	担当者名	○○○○
担当者電話番号	075-○○○-△△△△	連絡先 メールアドレス	aaaaa@aaaaaaaa.co.jp
常時使用する 従業員数(人)	25	人	資本金額※ 10,000,000 円
法人番号※	99999999999999		

※資本金額及び法人番号は、申請者が法人の場合に記入してください。

### 申請する店舗数

2

店舗

### 申請する期間

※該当する期間にチェック

令和3年4月25日～5月11日実施分



令和3年5月12日～5月31日実施分



※様式1-1に、施設ごとの情報を記載してください。



法人名又は 個人事業主名	株式会社 ○○○○	記入例
-----------------	-----------	-----

↓ 該当するものに必ずチェックしてください。4期の申請をされた方は4で始まる7桁の受付番号を記載してください。		対象地域
<input type="checkbox"/> 本施設は、(1)感染症拡大防止協力金(令和2年12月21日～令和3年1月11日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(2)感染症拡大防止協力金(令和3年1月12日、1月13日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(3)緊急事態措置協力金(令和3年1月14日～2月7日)に申請済みです。		京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(4)緊急事態措置協力金(令和3年2月8日～2月28日)に申請済みです。	4 0 1 2 3 4 5	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(5)感染症拡大防止協力金(令和3年3月1日～3月14日)に申請済みです。		京都府全域※1
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(6)感染症拡大防止協力金(令和3年3月15日～3月21日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(7)感染症拡大防止協力金(令和3年4月5日～4月24日)に申請済みです。		京都市内※2、 山城・乙訓地域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(8)まん延防止等重点措置協力金(令和3年4月12日～4月24日)に申請済みです。		京都市内
<input type="checkbox"/> 本施設は、上記協力金のいずれにも申請を行っていません。		※1 京都市以外は3/7まで ※2 京都市内は4/11まで

フリガナ	レストランサンカク		
施設名称 (店舗名等)	レストラン△△△△		
営業許可番号	京保セ第○○○号	営業許可証の有効期限	(元号) 令和3年8月31日
所在地	〒00000000 京都府 ○○区○○町○○番地 ○○○ビル○階101 <small>※番地、ビル名、階、部屋番号まで記載してください。</small>	施設コード (P8参照)	1 1 0 1  飲食店
施設電話番号	075-0000	※施設の種類を具体的に記入してください。	

### 休業要請等の対応状況

<input type="checkbox"/> 施設の休止(休業)	<input checked="" type="checkbox"/> 営業時間の短縮(午前5時から午後8時まで)
------------------------------------	---

休業要請等に対応した日数及び営業時間																														
5月																														
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	協力日数	短縮後の営業時間									
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	17 日	11:00～20:00									
定	○	○	○	○	○	○	○	定	○	○	○	○	○	○	定	○	○	○	○											

休業要請等(休業又は時短営業)に応じた日に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。もともと20時までに閉店する日は空欄にしてください。「○」の合計数を協力日数欄に記入してください。

前年(5/13～6/1)又は前々年(5/15～6/3)の営業日数等		
営業日数	定休曜日	通常の営業時間
17 日	水 曜日	11:00～21:00

前年(5/13～6/1)又は前々年(5/15～6/3)の期間中における営業日数を記入してください。

5月12日(水)から時短要請に応じることが困難な場合は、その事情を以下の記載欄に記載してください。

記載欄	
-----	--

前年(5/13～6/1)又は前々年(5/15～6/3)と要請期間の営業日数が異なる場合には、理由書(様式4)を提出してください。

理由書(様式4)を提出します。

複数施設(店舗)を申請する場合、「様式1-1」をコピーして各施設(店舗)に関する情報(1施設(店舗)につき1枚ずつ)を記入してください。添付書類(「別表2」⑦～⑭)の表紙として使用し、1施設(店舗)ごとに提出書類をまとめて提出するようにしてください。「○○屋四条店」など、どの施設(店舗)か分かるように記載してください。

P12「協力金支給額フローチャート」【1】の場合

記入例

支給額は1日当たり4万円です。

$$40,000 \text{ 円} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline 32 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline 1,280,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1a,bに記載の日数の合計

上記内容で申請します。

P12「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は令和元年の5月の売上高計} \\ \hline \text{① } 5,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \div 31 \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は令和元年の5月の1日当たり売上単価} \\ \hline \text{② } 161,290 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{②で算出された売上単価} \\ \hline \end{array} \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{千円未満切り上げ前の支給単価} \\ \hline \text{③ } 64,516 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \xrightarrow{\text{千円未満切上}} \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{④ } 65,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \quad \text{※最大10万円}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{④ } 65,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline \text{⑤ } 32 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline \text{⑥ } 2,080,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1a,bに記載の日数の合計

上記内容で申請します。

P12「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は令和元年の5月の売上高} \\ \hline \text{① } 10,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年5月の売上高計} \\ \hline \text{② } 2,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年5月の売上高減少額} \\ \hline \text{③ } 8,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※ p12「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年5月の売上高減少額} \\ \hline \text{③ } 8,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \div 31 \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり売上高減少単価} \\ \hline \text{④ } 258,065 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{④で算出された売上高減少単価} \\ \hline \end{array} \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{千円未満切り上げ前の支給単価} \\ \hline \text{⑤ } 103,226 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \xrightarrow{\text{千円未満切上}} \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{⑥ } 104,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \quad \text{※最大20万円}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{⑥ } 104,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline \text{⑦ } 32 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline \text{⑧ } 3,328,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1a,bに記載の日数の合計

上記内容で申請します。

月別売上高が分からない場合、年間売上高を用いて申請することもできます。

P12「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式) **記入例**

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。(令和2年2月29日が含まれる場合は366日)

令和2年又は令和元年の年間売上高計	① 60,000,000 円	÷	365日	=	② 164,384 円
※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。					
令和2年又は令和元年の1日当たり売上単価					
②で算出された売上単価	× 0.4	=	③ 65,753 円	千円未満切上	③ 66,000 円
※最大10万円					
1日当たり支給単価	③ 66,000 円	×	④ 32 日	=	⑤ 2,112,000 円
			時短協力日数		
			※様式1-1a,bに記載の日数の合計		
			当該店舗の支給額		

上記内容で申請します。

P12「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。(令和2年2月29日が含まれる場合は366日)

令和2年又は令和元年の年間売上高計	① 120,000,000 円	÷	365日	=	② 327,868 円
※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。					
令和2年又は令和元年の1日当たり売上高					
令和3年5月の売上高計	③ 1,000,000 円	÷	31 日	=	④ 32,258 円
※ p12「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。					
令和2年又は令和元年の1日当たり売上高	② 327,868 円	-	④ 32,258 円	=	⑤ 295,610 円
1日当たり売上高減少額					
⑤ 295,610 円	× 0.4	=	⑥ 118,244 円	千円未満切上	⑦ 119,000 円
※最大20万円					
1日当たり支給単価	⑦ 119,000 円	×	⑧ 32 日	=	⑨ 3,808,000 円
			時短協力日数		
			※様式1-1a,bに記載の日数の合計		
			当該店舗の支給額		

上記内容で申請します。

令和2年5月2日以降に開店した店舗については、開店日から令和3年4月30日までの売上高を用いて申請することもできます。

開店日： 令和 2年 7月 1日 記入例

P12「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

① 開店日から令和3年4月末までの売上高 <b>45,000,000</b> 円	÷	①の日数 <b>304</b> 日	=	② 開店日以降の1日当たり売上単価 <b>148,026</b> 円
※ p12「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。				
開店日から令和3年4月末までの日数を記入してください。				
②で算出された売上単価	× 0.4 =	③ 千円未満切上げ前の支給単価 <b>59,211</b> 円	千円未満切上	③ 1日当たり支給単価 <b>60,000</b> 円
※最大10万円				
③ 1日当たり支給単価 <b>60,000</b> 円	×	④ 時短協力日数 <b>32</b> 日	=	⑤ 当該店舗の支給額 <b>594,000</b> 円
※様式1-1a,bに記載の日数の合計				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します。				

P12「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

① 開店日から令和3年4月末までの売上高 <b>90,000,000</b> 円	÷	①の日数 <b>304</b> 日	=	② 開店日以降の1日当たり売上高 <b>296,053</b> 円
開店日から令和3年4月末までの日数を記入してください。				
③ 令和3年5月の売上高計 <b>1,000,000</b> 円	÷	31 日	=	④ 令和3年5月の1日当たり売上高 <b>32,258</b> 円
② 開店日以降の1日当たり売上高 <b>296,053</b> 円	-	④ 令和3年5月の1日当たり売上高 <b>32,258</b> 円	=	⑤ 1日当たり売上高減少額 <b>263,795</b> 円
⑤ 1日当たり売上高減少額 <b>263,795</b> 円	× 0.4 =	⑥ 千円未満切上げ前の支給単価 <b>105,518</b> 円	千円未満切上	⑦ 1日当たり支給単価 <b>106,000</b> 円
※最大20万円				
⑦ 1日当たり支給単価 <b>106,000</b> 円	×	⑧ 時短協力日数 <b>32</b> 日	=	⑨ 当該店舗の支給額 <b>3,392,000</b> 円
※様式1-1a,bに記載の日数の合計				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します。				